

令和5年度第2回唐津市行政改革推進会議 会議概要

(令和6年2月19日開催)

1 議題と主な意見

(1) 日報管理表について

○繁忙期と思われる12月の業務量が比較的余裕があるという意外な結果が出ている。数値で表すことにより、今まで行ってきた行政評価の手法よりも行政改革推進の意味合いが出ている。

(2) 火葬場の運営状況について

○火葬場の年間維持経費を人口で割った唐津市民一人当たりの負担額を福岡市民と比較すると、唐津市民一人当たりの負担額の方が大きいという結果であった。唐津市内に5つある火葬場のうち、一般的には一番採算性がない地域の施設を減らすということになるが、稼働率や利用1件当たりの費用など、もう少し細かい分析をすることで深い議論ができると思う。

○使用料収入について、肥前斎場は1件当たり約2万円であるが、それ以外の施設では約1万円となっている。地理的に使用料に差異がある市外居住者が利用しているのかもしれない。

○火葬場については賛成や反対意見があるのは分かるし無駄とは言わないが、利用状況、維持管理経費、他市との比較などを数値化し市民に公表することが大事である。

○火葬場は誰にでも関わってくることなので、一般市民を巻き込んだワークショップ型の討論会を開くことも一つの情報発信になると思う。

(3) 民間委託等の推進に係るガイドラインについて

○市民課の窓口も民間委託している他市の事例もある。

○証明書等はマイナンバーカードがあれば郵便局やコンビニで取得できる。令和5年度上半期の全体発行数のうち、約17%がコンビニによる発行であったこともあり、こういう数値も民間委託を進める上で非常に参考になる。

○ガイドラインに示されている「新たな委託区分」の例として戸籍事務などがあるが、情報管理面が不安である。安易に民間委託すると新たなトラブルが発生する可能性もある。

○ぜひ民間委託を進めていただきたいが、委託事業者の選考過程（プロポーザル）を市民に見えるようにすれば、安心感が増すと思う。

2 今後の対応

会議の結果は市のホームページで公表するとともに、関係各課と共有し、今後の取り組みの参考とする。